

2011 年 1 月 13 日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

岐阜市・各務原市・関市の 3 市社会福祉協議会と 連携調印式

中部学院大学（岡本 健 学長）ならびに中部学院大学短期大学部（片桐 多恵子 学長）は、岐阜市社会福祉協議会（坂井 富三郎 会長）、各務原市社会福祉協議会（森 真 会長）、関市社会福祉協議会（森島 力雄 会長）と、連携協定を結ぶことになりました。

3 市の社会福祉協議会とは、各地域における社会福祉の発展のために、互いに支援・協力することで合意しました。具体的な活動として、大学は 3 市が行っている地域福祉のすぐれた実践を研究して他の地域への普及と交流を推進したり、高齢者の「ふれあいサロン」やボランティア活動に参加して運営の協力を行ったり、市民福祉の向上に努めていけるように取り組んでいきます（詳細は別紙参照）

記

- 日 時 2011（平成 23）年 1 月 21 日 11 時 30 分から 12 時
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 大会議室
（関市桐ヶ丘二丁目 1 番地 TEL：0575-24-2211）
- 日 程 11：15 受付開始
11：30 開会（経過と趣旨説明）
11：40 連携協定の調印式
11：50 ごあいさつ
12：00 写真撮影 閉会
- 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長
岐阜市社会福祉協議会 坂井 富三郎 会長
各務原市社会福祉協議会 紙谷 清 常務理事
関市社会福祉協議会 森島 力雄 会長 ほか

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学総合研究センター（担当：西堀） TEL：0575-24-2238

岐阜市・各務原市・関市の各社会福祉協議会との連携協定について

■ 趣 旨

3市は、濃尾平野の真ん中に位置し、就労や就学、経済活動など生活圏を共有して発展してきました。このためそれぞれの地域には共通する福祉問題を抱えています。とりわけ、次のような福祉課題が顕著になっています。

1. 70年代から80年代にかけて造成された団地・公営住宅等の高齢化
2. 市街地域の人口減少と高齢化
3. 市民の中にある、子育て、教育に対する不安
4. 経済や社会の変動にともなう新たな福祉ニーズの増加

このような福祉課題に対して3市社協では、自治会、民生委員、地域住民団体、ボランティアなどと共に、住民参加による小地域単位の福祉活動を推進してきました。こうした経験を持ち寄り、さらに「あんぜん 安心な福祉のまちづくり」を推進するために、中部学院大学は、研究機関として地域福祉の推進に協力するものです。

■ 調印までの経過

2009年6月に日本地域福祉学会を中部学院大学にて開催しました。その際、3市社協と岐阜県社協、そして本学が連携して、学会を成功させました。そこに結集した力を持続して、地域福祉の発展のために協力していくことを申し合わせました。

今回の提携をきっかけに、三つの社協が経験と知恵を出し合い、共に市民福祉の向上に努めていけるように、中部学院大学が推進と調整役を務めるものです。

■ 具体的な活動

1. 3市が行っている地域福祉のすぐれた実践を研究し、他の地域への普及と交流を推進する。
2. 各種の運営委員会・委員会等に大学の研究者が参加し、研究協議に加わると共に必要な提言を行う。
3. 自治会など小地域単位で行われる、高齢者の「ふれあいサロン」やボランティア活動などに、学生が参加して運営の協力を行う。
4. 社協をはじめ、市内の福祉施設・福祉事業所等に就職を希望する学生に対して、求人情報を提供し相談にのっていただくこと。

■ 参 考（3市の概要）

○岐阜市	人口	420,185人	世帯数	170,173世帯	（平成23年1月1日現在）
○各務原市	人口	149,618人	世帯数	55,367世帯	（平成22年12月1日現在）
○関市	人口	93,540人	世帯数	33,649世帯	（平成23年1月1日現在）